

関係者各位

香川県軟式野球連盟

会長 宮本 欣貞



連盟主催県内大会参加について（感染症拡大予防対策要請）

平素は、連盟の運営に協力いただきありがとうございます。

標記の件につきまして、新型コロナウイルス感染症対策をし、下記の要領で開催したいと思いますので、ご理解とご協力のほどよろしく願いいたします。

尚、今後の状況によりさらに変更があることもご承知おき下さい。

記

1. 大会開催日まで及び当日出発前に行くこと。

- 参加当日に各自自宅にて検温を実施して参加する事。但し下記の方は参加できない。
 - 平熱を超える発熱がある方。
 - 過去2週間以内に発熱感冒症状で受診、服薬等をした方。
 - 具合の悪い方。
 - 味覚、嗅覚に違和感のある方。
 - 「連盟ホームページ」→「連盟主催大会における新型コロナウイルス感染症対策について要請書」→「05 スポーツイベント開催・実施時の感染防止策チェックリスト」→「当日の参加受付時の対応」の下、最後の8項目に該当する方。**
- 会場に入る際の石鹸による手洗いの実施並びに、試合途中においても適宜手洗いをを行う。
- チーム及び審判員等が持ち込んだ、飲食物等のごみは、試合終了後ごみ袋に入れて全て持ち帰る事。（各チーム、個人でごみ袋は用意する事。）
- マスクは持参しておく事。
- 「健康チェックシート」をダウンロードの上、記入可能な箇所は記入しておく事。（責任審判員、当日のチーム責任者）

2. 球場についてから試合前、試合中行う事。

- 「健康チェックシート」に残りの必要事項を記入、捺印の上、提出する事。（**提出無い場合は試合に参加できない。**）
 - チームは「健康チェックシート」を会場責任者か責任審判員に提出。
 - 会場責任者か責任審判員は参加選手の体温を計測（確認事項）。
 - 確認後、除菌して選手はグラウンド内に入ることができる。
 - 又、ベンチには除菌作業が終了すれば入ることができる。
 - 審判員は検温後グラウンド整備、必要箇所の除菌作業、準備を行う。
 - 遅れてきた大会関係者や選手は、検温してから本部席やグラウンドに入ることが出来る。（チーム責任者は、遅れてくる選手がいる場合は必ず説明しておく事。）
- 本部席及び出入りする可能性のある場所は消毒する事。（消毒液は連盟で用意する。）
- 両軍ベンチ内も消毒する事。（大会本部関係者が消毒後に選手をベンチに誘導する。）
- 飛沫感染を防ぐための徹底した対策を行う。

- 人の密集を避ける。(手が届く範囲以上の距離を保つ。人数を少なくするよう配慮する等。)
- 近距離での会話や大声での発声を控える。(声を出す機会を最小限にする。咳エチケットに準じて声を出す機会が多い場合はマスクを必ず着用する等。)
- グラウンド整備等、その他準備において距離を保つ事。(整備道具はその都度除菌をする。)
- 試合前の打ち合わせは、短く要点だけを伝える。その時審判員及び選手の距離は十分とっておくこと。
- オーダー交換時に距離をたもち選手同士握手はしない。
- 試合開始前、試合間に審判員または運営協力者が除菌作業等行う。
時間を要するため、試合前シートノックは無とする。
- 用具点検は、チームは用具すべてをベンチ前に出し、審判員は確認する事。
- 試合前の集合はベンチ前とし(ホームベース周辺に集合しない)、審判員の合図で守備側のチーム、攻撃側のベースコーチは定位置に着き試合準備をする。
- 選手の人数が多い場合、距離を保つためにベンチから出てもOKとする。その場合でも競技場内白線内か、グラウンドの外。ただしそれ以外の禁止事項は厳守する事。(グラウンドルールを用意することがある。)
- 子供をベンチ内に入れることを禁止する。(これは、通常の大会の場合も適用する。連盟通達。)
- 関係者以外、本部席、ベンチ内に入場させない事。(但し運営協力者は関係者とする。)
- * 運営協力者とは、グラウンド整備、ボールボーイ、スウィッチャー、スコアボード作業に呼ばれた者。

3. 試合中

- 十分距離を取り、換気もする事。
- チームからのアピール、選手交代時には距離を取って、話す時は向き合わない事。
- 審判員は選手交代等を本部席に通告の場合、距離を取って伝える事。
- まさに試合に出場中の選手、審判員はマスクを着用しなくてもよい。(但し、咳エチケットに準じて行動する事。)
- マスク着用時には、熱中症対策も十分行う事。

4. 試合終了及びチーム入れ替え時

- 試合終了時、両チーム監督と球審のみホームベース周辺に十分距離を取って集合し、球審は試合終了の宣言をする。(この場合も、両チーム監督は握手をしない事。)
- 次の試合に出場のチームは、試合中のチームが退場したときに邪魔にならない、十分離れた所に控える事。
- 試合間のチームの入れ替えは、当該チーム退場後除菌作業を行う。作業終了後責任審判の了解を得て次の試合のチームは入場する。
- グラウンド整備用具も、都度除菌作業を行う事。
- 試合が終了したチームは、片付け等が終わり次第、すみやかに球場から退場する事。

5. その他

- 手用アルコール除菌液については、本部席、両軍ベンチ内の3か所分用意する。アルコール除菌液がなくなった場合はせっけんで代用し除菌に努める。
- 運営協力者も感染症対策を行い参加する。
- その他いろいろな感染症対策を工夫し行う。

* 最後に大会開催中チーム関係者、審判員に感染者が出た場合は、大会を中止し感染拡大を防ぐ措置をチーム及び連盟が「ガイドライン」に沿って協力して行うこととする。

以上